



2021-2022 年度主題  
 国際会長(IP) Kim Sang-chaе (Korea) キム・サンチェ  
 主 題 “Ys Men with the World” 「世界とともにワイズメン」  
 スローガン “Heal the World with Love and Dignity”  
 「愛と尊敬で世界を癒やそう」  
 アジア太平洋地域会長(AP) 大野 勉 (神戸ポート)  
 主 題 “Make a difference beyond the 100th”  
 「100年を越えて変革しよう」  
 スローガン “Be healthy!” 「健康第一！」  
 東日本区理事(RD) 大久保知宏 (宇都宮)  
 主 題 “Think for the next generation”  
 「私たちは次の世代のために何が出来るか？」  
 スローガン “We are stronger together than we are alone”  
 「絆を深めるとき」  
 湘南・沖縄部長(DG) 若木 一美 (横浜とつか)  
 主 題 「咲かそう 人の輪～明るく・楽しく・元気よく～」  
 クラブ会長 久保勝昭  
 “良きつながりを持って” 心ひとつに「無理の無い活動を」



## 未 来 に 希 望 を

横浜つるみワイズメンズクラブ会長 久保勝昭

2021年11月19日(金)「これからのボランティア活動を考えよう！」講座第2弾という事で第1弾に引き続き澤岡先生の講演をオンラインではあったが受講する機会に恵まれた。「コロナ禍だけど、人と社会とつながりたい。何が出来るの?」「今からできる!ボランティア活動のヒント」「オンライン使ってみただけよく分からない」等のタイトルに沿って、つるみワイズメンズクラブの活動や個人的な生活を振り返り、コロナ禍で今後の活動に生かせるものが有るのか良い機会なので考えてみた。

Noは先生の問いかけ(×)は悪かった事、(○)良かったことに分けてみた。

①ボランティアの数年後をかえる・「休止(活動)してみてこれまでのようにできなくなって・・・」

「だからこそ見えてきた活動の意味や目指す姿」①×つるみクラブを発足させる元となった「生麦ケアプラザ・歌の広場」の活動が2021年1月より中止、現在も続いているが、これにより広場の設営や終了後の清掃等のボランティア活動が出来なくなった。○「歌の広場」は歌う事により認知症の予防になると考えている。再開するにあたっては歌う事により予防効果がある事を実践していききたい。

①「多くの老若男女がコロナ禍で失ったもの」②「変化は悪い事だけではない」③「今のチャレンジが数年後をかえる?」①×しいて言えば何も出来ない、大変貴重な時間を失ったこと。

○家にいることが多くなり太りすぎを予防するためマスクをして一人で散歩する習慣がついた。②×オンラインでの会議が多くなり、不慣れな為に進行がスムーズに出来ないことが、時々発生した。○オンラインによって会議に出席出来る利点があり以前より出席率が良くなった。③×つるみクラブはPCをもっている人が少ないためオンラインでの例会が出来なかった。○対面での例会に常に気を使い、感染の予防に最大限の注意を払った(マスク、検温、消毒)結果、2020年1月から2021年10月までの例会中止は6回だけでした。

①「チャレンジで得た新たなチカラ」

○オンラインでの会議、例会、報告、講演が多くなったが、以前よりこの事に関心をもつ人が多くなった事、また情報の伝達がスピードアップした様に思う。

①「数年後を見据えて」

○オンラインの活用によって、コロナ禍でも充分な伝達力が有ることが分かった。  
 ×オンラインばかりに頼っていると本来の人との繋がりが失われるような気がする。  
 ○対面とオンラインを上手く併用していく事で以前より幅広い活動が迅速に行われると思う。

**令和 3 年 11 月 11 日 (木) 定例会**

場 所：鶴見中央地域ケアプラザ・多目的ホール

参加者：久保会長、島田、横山、久米、新改、中村、  
日野、松井、吉本、渡邊

欠席者：駒井

ゲスト：今城 高之氏 (つつ)、千葉 裕子氏 (鎌倉)、  
日下部 美幸氏 (厚木)

1. 開会点鐘 (会長) ワイズソング・ワイズの信条
2. 会長挨拶

**「報告事項」**

1. 10/23(土)2021-2022 湘南・沖縄部 部会  
とつかYMCA 14:00~16:00 久保
2. 10/27(水)第2回ボランティア市民活動団体分科会  
鶴見区福祉保健活動拠点 13:15~15:00 中村
3. その他 (ちょこっと助け隊) 横山

**「YMCA 報告」**

4. チャリティーラン進捗状況 島田所長

**「今城 高之氏 卓話」**

テーマ 「ブリテンを作ろう！」

1. 「ブリテン」って何？  
Bulletin：掲示、公報、会報、告示、通報

2. 東日本区「クラブ運営マニュアル」には
  - 1) クラブブリテン (会報) の目的
    - ・クラブメンバーに“ワイズ精神”を伝える
    - ・集会案内・報告、ニュースなどを告知して、  
クラブ内のコミュニケーションと団結を図る
    - ・他のクラブや区、部の役員に活動状況を報告し
    - ・クラブの公式記録として長年保管する
  - 2) 毎月定期的に発行し、例会開催の一週間前には  
クラブメンバー他に届いていること
  - 3) クラブ書記又はブリテン編集担当者 (担当編  
集者) が編集を行うこと
  - 4) 東日本区が要請する掲載事項
    - ① 国債会長、アジア太平洋地区理事、部長、ク  
ラブ会長の主題掲載
    - ② 前月の月間記録
      - イ) 在籍クラブ会員数
      - ロ) 例会出席者数 (メン、メネット、コメッ  
ト、ピジター、ゲスト別
      - ハ) 月間メーキャップ・クラブ会員数
      - ニ) 月間出席者数、月間出席率
      - ホ) BF ポイント (切手、現金、類型別)  
※つつきCは“スマイル”
      - ヘ) その他各種記録等

- 5) 送付先 (会員以外)

- ① 東日本区役員 (役員目尾簿記載者全員)、  
所属する部役員、事業主査、クラブ会長
- ② IBC、DBC の相手先、親クラブ、子クラブ
- ③ 例会のゲストスピーカー、入会候補者数

3. つづきクラブの場合

- ・会員やワイズ関係者以外への役割を重視、PR、  
案内効果を重視
- ・メンバーの顔が見える“クラブ”を目指す
- ・郵送をやめ、90人にネット配信  
具体的編集方法を、話して頂きました



**〈2021年 11月データ〉**

在籍会員数	例会出席者数		出席率
11名	メンバー	11名	100%
	ゲスト	3名	
	合計	14名	

**今後の予定**

- ・11月27日 (土) 15:00~17:00  
2021-22 年度第2回評議会
- ・12月5日 (日) 13:30~  
役員会
- ・12月9日 (木) 16:30~18:00  
12月定例会
- ・12月10日 (金) 15:00~16:00  
「ちょこっと助け隊」定例会



## 第24回横浜 YMCA インターナショナルチャリティーラン

11月6日(土)から11月20日(土)の期間、開催されました横浜 YMCA インターナショナルチャリティーランは、お陰様で鶴見中央地域ケアプラザと、つるみワイズメンズクラブからの募金で10万円以上達成いたしました。つるみワイズからは「つるみワイズメンズクラブチーム」として5名の方に協力いただき、2週間で合計656,880歩を達成することができました。

駒井君雄様 走行距離：143.255 km  
 久保勝昭様 走行距離：96.416 km  
 中村純子様 走行距離：150.220 km  
 日野東亜子様 走行距離：125.149 km  
 こてつ様 走行距離：141.840 km



集まった募金は、障がいのある子どもたちのためのプログラムに、多くの子どもたちが参加できるよう使わせていただきます。ご協力ありがとうございました。

(鶴見中央 YMCA 横山 裕二)

## 「ちょこっと助け隊」定例会

日時：11月12日(金) 15:00~16:00

場所：鶴見中央地域ケアプラザ

参加者：相澤、坂爪、佐久間、上原、山川、座間、中村

鶴見中央地域ケアプラザ 横山

欠席者：金子、区社協：沖

### ★11月の活動報告

11/2 寺谷 枝切り 担当(久保、中村)

11/10 鶴見中央 風呂場フィルター掃除(相澤)

### ★依頼と検討

11/13(土) 豊岡 ゴミ出し 担当(上原)

11/17(水) 鶴見中央 クーラー掃除(相澤)

11/21(日) 佃野町 選定片付け 金子、久保、中村

12/14(火) 鶴見中央3 窓ふき 担当(中村)

### ①ボランティア交流会について

日時：1/31(月) 10:00~11:30

場所：社会福祉協議会 多目的研修室

対象：各ボランティアグループから2名

※出席者アンケート提出 11/30

### ②今年度の定例会について

12月定例会：12月10日(金) 15:00

1月定例会：1月14日(金) 15:00



作業後

## 食品ロスを減らし、必要とする人へ

### ～フードドライブ編～

日本では、年間 2,531 万トン(※)の食品廃棄物等が出されています。このうち、まだ食べられるのに廃棄される食品、いわゆる「食品ロス(まだ食べられるのに廃棄される食品)」は、年間 600 万トン毎日大型トラック(10トン車)で約 1,640 台分です。

これは、世界中で飢餓に苦しむ人々に向けた世界の食料援助量(2019年で年間約 420 万トン)の 1.4 倍に相当します。また、食品ロスを国民一人当たりで換算すると「お茶碗約 1 杯分(約 130g)の食べもの」が毎日捨てられていることになるのです。「もったいない」と思いませんか? 「フードドライブ」とは、主に家庭で余っている食べ物を持ち寄り集めて、地域の福祉団体や、フードバンク等へ寄付します。皆さんも参加してみませんか。

